

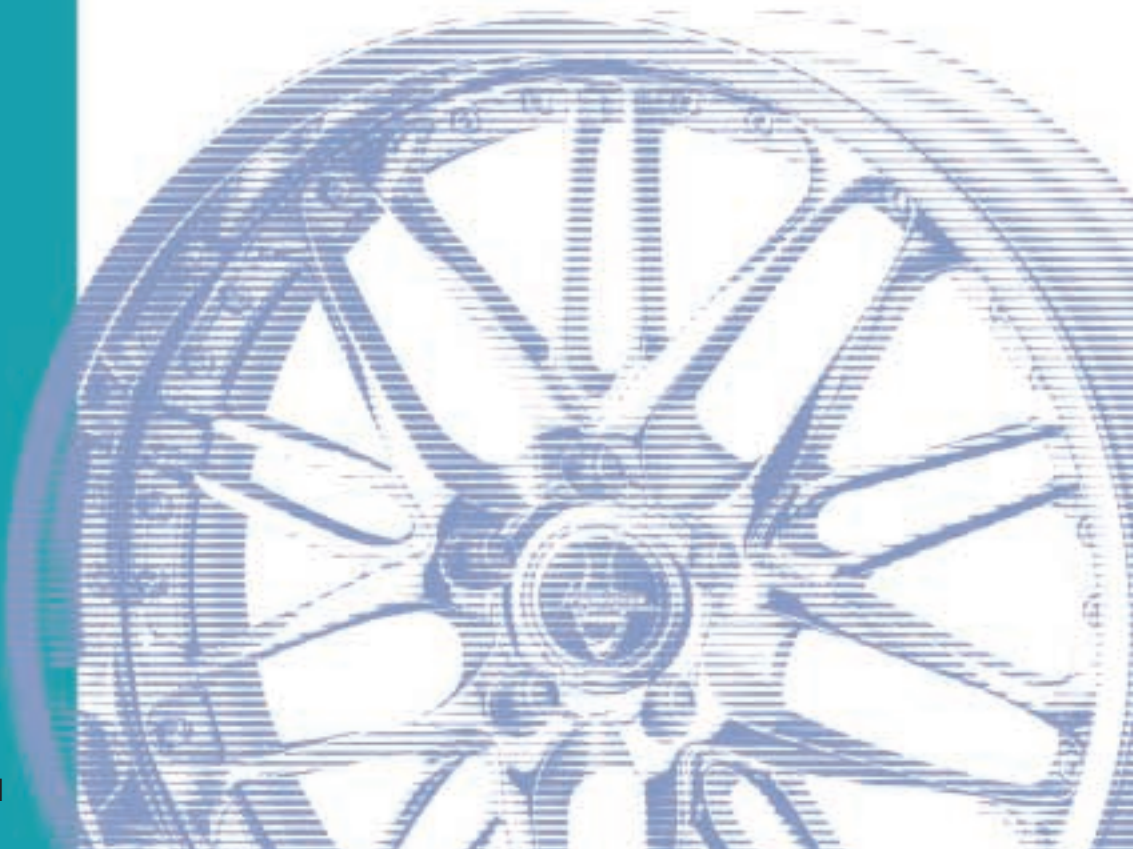
38th

第38期 事業報告書

平成14年4月1日から平成15年3月31日まで

weds

株式会社ウェッズ



証券コードNo.7551

車と社会の未来を グローバルに創造する



CONTENTS

株主の皆様へ	2
決算ハイライト	3
第38期の営業概況	4
財務諸表	5
第39期 事業戦略	7
NEW PRODUCTS	8
TOPICS	9
会社の概要・株式情報	10

●株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当事業に格別のご支援・ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。今般、当社の第38回定時株主総会終了後の取締役会において代表取締役社長に選任され就任致しました。今後は当社経営体質の強化をテーマに、株主の皆様のご期待にお応えできるよう微力ながら全力を尽くしてまいる所存であり、よろしく御願ひ申し上げます。

さて第38期（平成14年4月1日から平成15年3月31日まで）の当社業績につきまして、その概要をご報告申し上げます。

当期の我国経済は、米国経済の持ち直しに伴う輸出回復により生産が増加基調にありましたが、個人消費の落ち込みや企業設備投資の手控え等により、景気は回復感がないまま推移しました。

このような環境下、当社は春先の全社キャンペーン展開等による高中級ホイルの拡販やコストダウン等に取り組み、また新事業において、「マイナスイオン発生器」を上市する等全力を傾注致しましたが、売上

高22,136百万円、経常利益369百万円となり、前期比では減収減益となりました。

なお株主の皆様への利益還元につきましては、長期安定かつ配当性向重視を利益配分の基本方針としておりますが、当期は期末配当を2円50銭増配致し、中間配当とあわせた年間配当を1株当たり10円とさせていただきたいと存じます。

今後の見通しにつきましては、依然として厳しい経済環境が続くと予想しておりますが、諸課題に対する施策を着実にこなし、業績向上に向けてさらなる努力を重ねてまいる所存であります。

株主の皆様には、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年6月

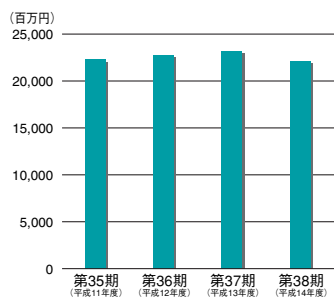
代表取締役社長

川口 修

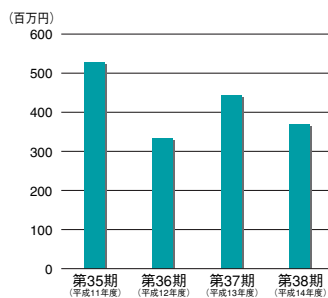
●決算ハイライト

38th

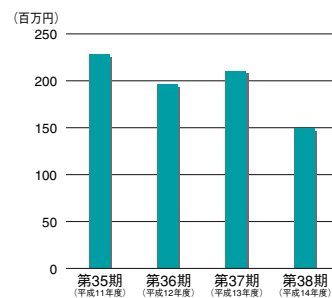
売上高



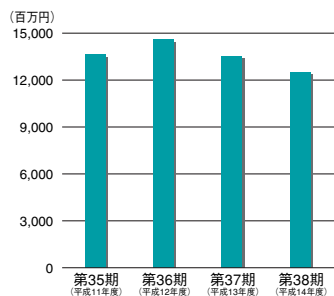
経常利益



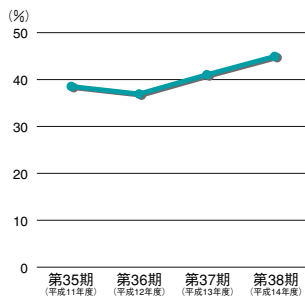
当期純利益



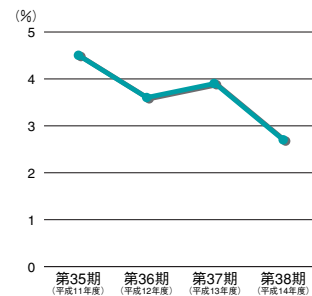
総資産



株主資本比率



株主資本利益率



項 目		第 35 期 (平成11年度)	第 36 期 (平成12年度)	第 37 期 (平成13年度)	第 38 期 (平成14年度)
売上高	(百万円)	22,281	22,713	23,151	22,136
営業利益	(百万円)	292	179	325	350
経常利益	(百万円)	528	334	444	369
当期純利益	(百万円)	228	196	210	149
総資産	(百万円)	13,621	14,575	13,500	12,490
株主資本	(百万円)	5,245	5,381	5,532	5,610
株主資本比率	(%)	38.5	36.9	41.0	44.9
株主資本利益率	(%)	4.5	3.6	3.9	2.7

当期の概況

当期の我国経済は、輸出回復により生産が増加基調にありましたが、個人消費や企業設備投資の落ち込みと株価の大幅下落等によってデフレ圧力が強まりました。また、イラク戦争後、米国経済が先行きを懸念されるに至り、景気は一段と不透明感を増して推移しました。

当社が属する自動車業界においては、平成14年度の国内新車販売台数はスモールカーを中心に増加したものの、アフターマーケットの低迷は深刻であり、長引く不況によって卸・小売業者の倒産が続きました。かかる環境下、当社は全力を挙げて業績の確保に努めましたので、計画対比では売上高は若干の増収となりましたが、経常利益と当期純利益は減益となりました。

これらの結果、当期の売上高は、対前年比1,015百万円(4.4%)減の22,136百万円、経常利益は対前年比75百万円(16.9%)減の369百万円、当期純利益は60百万円(29.0%)減の149百万円になりました。当期の設備投資は116百万円であり当該資金は自己資金により充当しております。

なお、子会社の日本メルバー(株)は経営不振のため当上期に解散致しました。

次期の見通し

日本経済は、個人消費の低迷や不良債権処理の長期化により自律回復の道筋を描けずデフレと株価低落が顕著な状況にありますが、さらにイラク戦争後の米国経済停滞やSARS問題等の影響によっては、景気は浮揚力をなくして底這い状態で推移することが懸念されます。

こうした環境下、当社は高中級アルミホイールを中心とした商品開発の強化、全国営業推進体制の強化、商品管理の徹底及び経費体質のスリム化等経営諸施策を推進して、利益体質の強化並びに経営体制の再構築を進めてまいり所存であります。

これらを踏まえた通期の業績見通しは、売上高22,400百万円(前年比1.2%増)、経常利益400百万円(前年比8.4%増)、当期純利益185百万円(前年比24.2%増)を見込んでおります。

● 財務諸表

38th

貸借対照表（要約）（単位：百万円）

科目	第38期 平成15年3月31日現在	第37期 平成14年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	9,148	9,916
現金・預金	748	781
受取手形	2,503	2,975
売掛金	2,853	2,739
商品	2,444	2,327
繰延税金資産	187	160
その他	454	951
貸倒引当金	△43	△20
固定資産	3,342	3,584
有形固定資産	2,060	2,239
建物・構築物	894	982
土地	1,019	1,019
その他	146	237
無形固定資産	38	9
ソフトウェア	29	—
その他	8	9
投資その他の資産	1,243	1,336
投資有価証券	185	245
関係会社株式	99	148
敷金	426	431
繰延税金資産	51	3
その他	512	538
貸倒引当金	△31	△31
資産合計	12,490	13,500

科目	第38期 平成15年3月31日現在	第37期 平成14年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	5,256	6,834
支払手形	—	628
買掛金	1,316	1,605
短期借入金	3,000	3,750
その他	940	851
固定負債	1,622	1,133
長期借入金	1,200	750
退職給付引当金	286	253
役員退職慰労引当金	118	113
その他	17	17
負債合計	6,879	7,968
(資本の部)		
資本金	—	852
資本準備金	—	802
利益準備金	—	213
その他の剰余金	—	3,655
任意積立金	—	3,366
当期末処分利益	—	288
その他有価証券評価差額金	—	8
資本合計	—	5,532
資本金	852	—
資本剰余金	802	—
利益剰余金	3,963	—
利益準備金	213	—
任意積立金	3,516	—
当期末処分利益	233	—
その他有価証券評価差額金	△7	—
自己株式	△0	—
資本合計	5,610	—
負債・資本合計	12,490	13,500

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

損益計算書（要約）（単位：百万円）

科 目	第38期	第37期
	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
売上高	22,136	23,151
売上原価	17,797	18,787
売上総利益	4,339	4,364
販売費及び一般管理費	3,988	4,038
営業利益	350	325
営業外収益	127	198
営業外費用	109	79
経常利益	369	444
特別利益	83	410
特別損失	137	439
税引前当期純利益	315	415
法人税、住民税及び事業税	230	268
法人税等調整額	△63	△62
当期純利益	149	210
前期繰越利益	101	95
中間配当額	16	16
当期末処分利益	233	288

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書（単位：百万円）

科 目	第38期
	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	438
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△138
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△333
IV 現金及び現金同等物の増減額	△33
V 現金及び現金同等物の期首残高	781
VI 現金及び現金同等物の期末残高	748

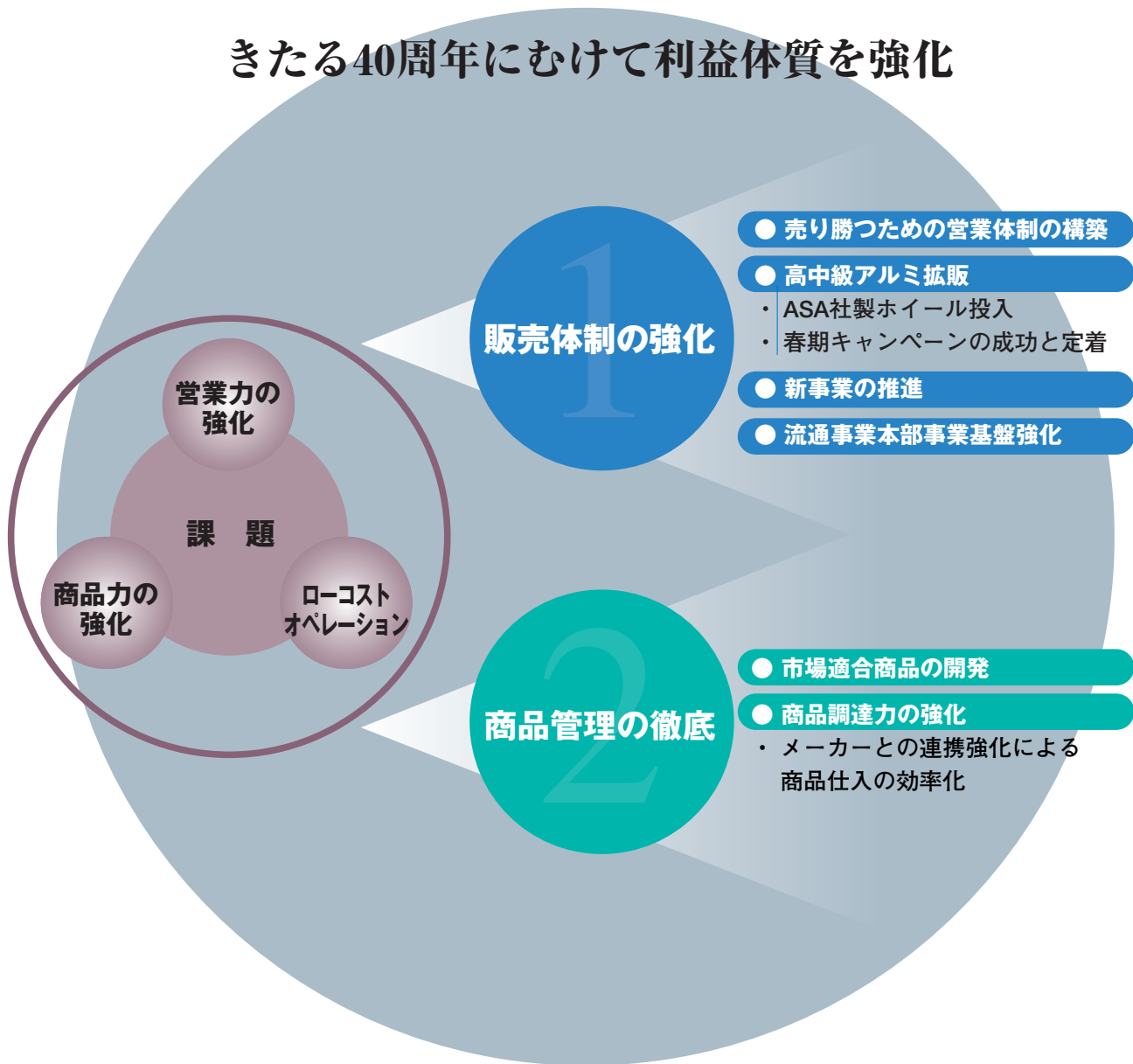
* 前期までは連結キャッシュ・フロー計算書を作成していたため、前期単体数値については記載しておりません。

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

利益処分（単位：円）

科 目	第38期
当期末処分利益	233,882,218
これを下記のとおり処分いたします。	
利益配当金(1株につき6円25銭)	27,781,094
取締役賞与金	16,980,000
監査役賞与金	6,360,000
別途積立金	100,000,000
次期繰越利益	82,761,124

きたる40周年にむけて利益体質を強化



市場競争力と シェアアップを図る 高中級ニューモデル続々投入!

当社では、第39期（平成16年3月期）春・夏向けニューデザインアルミホイール10アイテムを開発し、2003年1月より販売を開始致しました。当社トップブランドであり、ユーザー認知度も抜群に高い3ピース大口径ホイール「クレンツェ」シリーズに新たに「ボルフェス」を投入、また昨年度爆発的ヒットを記録した「ケルベロスII」に20インチサイズを投入、「ボルフェス」にも今夏20インチを投入し、大径化へのユーザーニーズに応え「クレンツェ」シリーズで昨年を上回る販売実績を上げています。

また昨年度投入したカスタムユース2ピースブランド「ヴィレンズ」に新たに「ヴィレンズディッシュ」の17、18、19インチを投入し、既存の「メッシュ・Vスポーク」にも19インチサイズを追加し、大径カスタムユーザーニーズに応え、好調な販売を記録しています。

そして独BBS社と技術ライセンス契約を結んでいる韓国のトップホイール製造メーカーであるASA社から、7000トン油圧プレスを用い成形した「鍛造シームレスモノチューブリム」を採用した2ピースホイール「ベローナWA」シリーズの「WAD・WAS」の17、18インチを新たに市場投入し、当社の市場シェアの拡大を現実のものとしています。今夏には第三弾のデザインとして「WAL」17、18インチの新規投入を予定しています。その他「WEDS SPORT」ブランドにはアルマイト調の新表面仕様を施した「SA-90」を投入し、SA-90については今夏当社初の本格的裂開鍛造超軽量の18、19インチを投入します。クロカンSUVユースに対しては既存マッドシリーズに新たに2ピース鍛造製の「マッドステインS-01・R-02」デザインを、高級ブランド商品の脇を固めるアイテムである「ファーマス」「レオニス」「ラウフェン」シリーズにもそれぞれ新デザインを投入し、競争の厳しいこれら高中級のカテゴリーにおいて、強力な市場競争力の向上とさらなるシェアアップを目指しています。



クレンツェ ボルフェス



ヴィレンズ DISH



ベローナWA WAD



ベローナWA WAS



SA-90



ファーマス S1レブラット



レオニスSE



ラウフェン ツィファーブラット



マッドステイン S-01



マッドステイン R-02



「全日本GT選手権 (JGTC)」に本年度も参戦 !!

1985年より全日本ツーリングカー選手権にウェッズスポーツレーシングチームとして本格的に参戦、活動を開始。毎年その他国内トップカテゴリーのレースに参戦し好成績を収めてきました。

今年も日本のトップカテゴリーである2003全日本GT選手権に出場し、優秀な成績を収めるべくGT300クラスで参戦中!

ドライバーには昨年GT300クラス優勝を獲得した青木孝行選手を迎えレース中盤戦からは「トヨタ：MR-S」に変わって「トヨタ：セリカ」にて参戦し、戦闘力もさらにアップ! 今後のレース結果が注目されます。

なおレース結果については当社ホームページでもご覧いただけます。

スプリングキャンペーン2003も好調な推移!! 充実の「WEDSブランドカタログ2003」発行!!

今年で4年目を迎える「ウェッズスプリングキャンペーン」も2月より実施し好調な推移となっております。

また、当社のオリジナル商品や取扱GTパーツを前年にも増して網羅した「WEDSブランドカタログ2003」を発行。

実用性の向上と、デザインの斬新さを前年にも増して取り入れており使用するユーザーのことを考え、より解りやすい構成となっております。

全国主要量販店を始め、ガソリンスタンド等まで広範囲に配付し効果を上げています。



2003 WEDS
イメージキャラクター
沢尻エリカ

年間10円に増配 (従来7円50銭) (株主優待制度は廃止)

配当につきましては、従来から年間1株当たり7円50銭配当を実施してまいりましたが、この度は配当性向 (年間配当総額 ÷ 当期純利益 × 100%) 等を鑑み配当案を作成し、定時株主総会にてご承認を賜りましたことから、第38期は期末配当を6円25銭に増配致し、中間配当とあわせ年間では1株当たり10円とさせていただきます。

なお6月月初の株価をもとに配当利回り (1株当たり年間配当 ÷ 株価 × 100%) を算出しますと、4%近い高水準となっております。

一方で本年1月に発表致しました通り、当社は毎年3月末の株主の皆様に対して子会社日本メルバーの取扱商品を贈呈しておりましたが、その子会社を昨年8月に清算しましたことなどから株主優待制度の継続が困難となり、本年3月から廃止させていただきます。

● 会社の概要・株式情報 (平成15年3月31日現在)

会社概要

商号	株式会社ウェッズ WEDS CO.,LTD.
本社所在地	東京都目黒区目黒本町1-12-12
設立	昭和40年10月12日
資本金	8億5,275万円
従業員数	179名
業務内容	自動車用アルミホイール・スチール ホイールを中心とした自動車部品・ 用品の販売

役員 (平成15年6月26日総会后新役員)

取締役会長	上坂良夫
取締役社長 (代表取締役)	川口修
常務取締役	谷越時義
取締役相談役	永井秀哉
取締役	加藤寛夫
取締役	大村正夫
取締役	畑井勇喜雄
取締役	山口義弘
取締役	伊澤秀
常勤監査役	井上正明
常勤監査役	川崎史博
監査役	清水延能

※取締役加藤寛夫氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める資格要件を満たす社外取締役であります。

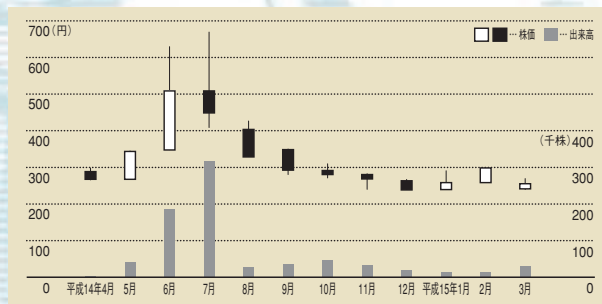
※監査役井上正明氏及び清水延能氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

株式情報

■ 会社が発行する株式総数	17,780,000株
■ 発行済株式総数	4,445,000株
■ 株主数	589名
■ 大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
中央精機株式会社	1,621,800	36.52
石原勝成	315,959	7.11
株式会社UFJ銀行	222,000	4.99
ウェッズ従業員持株会	135,910	3.06
根津昭	131,000	2.95
碧海信用金庫	127,000	2.86
民享工業股份有限公司	109,700	2.47
株式会社三井住友銀行	91,000	2.04
六和機械股份有限公司	64,000	1.44
星野肇	60,500	1.36

■ 株価推移



株主メモ

- 決 算 期 3月31日
- 配当金受領株主 3月31日
確 定 日 なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、
9月30日といたします。
- 定 時 株 主 総 会 毎年6月
- 株主確定基準日 3月31日
そのほか必要があるときには、あらかじめ公告いたします。
- 1単元の株式数 100株
- 公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞
貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス
<http://www.weds.co.jp>
- 株 式 名 義 書 換
名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号 〒105-8574
中央三井信託銀行株式会社
- 同 事 務 取 扱 所 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063
(お問合せ先) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) (証券代行事務センター)
電話03 (3323) 7111 (大代表)
- 同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

weds CO.,LTD.

株式会社ウェッズ

〒152-0002 東京都目黒区目黒本町1-12-12

TEL 03-3792-0130

URL <http://www.weds.co.jp>

